

回覧



2022
4月号

「東京 静と動」巡回展 開催中

二〇二二年三月二十六日(土)より、「東京 静と動」西会津巡回展」を開催中です。

本展は、世界中で活躍し続けるアルゼンチン人映画監督／写真家のマルセロ・フォン・シユワルツ氏と音楽家／パーカッショニストの永井朋生氏によるコラボレーションです。東京をテーマに撮られたマルセロの16の各作品に永井朋生氏が音

楽をつけ、壮大で能動的なサウンドスケープの世界を表現しました。

「STILL MOTION・静と動」色・音程・形・音色・構成・リズム、何が動で、何が静なのか。二〇二一年に東京天王洲アイランドで行われた展覧会が西会津国際芸術村にやってきます。会期は二〇二二年三月二十六日(土)〜四月二十四日(日) 十時〜



十七時まで。お誘い合わせのうえ、ぜひ、ご来館お待ちしております。

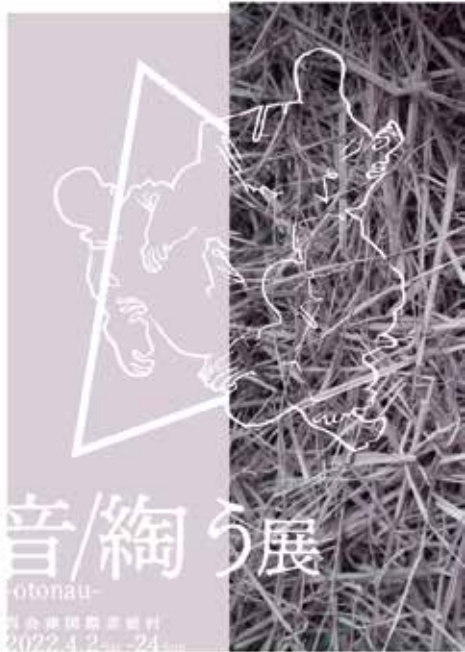


「音／絢う -otonau-」展 開催します

二〇二二年四月二日(土)より四月二十四日(日)まで「音／絢う -otonau-」展が開催されます。

本展は、西会津町の地域おこし協力隊で、アーティストの都竹泰河氏による「音と映像と薫」が満ちた空間展示です。

二〇二一年に地域おこし協力隊として西会津に移住した都竹氏は「移住者」という、遠い別の場所からやってきて感じたものや思い、感覚の違いなどが、とても曖昧な存在



で、リミナルな共同体に属していると感じたそうです。本展では、ひとつの可能性を「音」、そして「絢う」という行為に見出し、大きな要素として位置付け、構成された展示となっています。

また、三月十三日(日)に行われたワークショップ「なわをなう時間」で、実際になわれた縄の展示も行います。子供から大人まで様々な方がなった縄もお楽しみください。お誘い合わせのうえ、ぜひ、ご来館ください。

出張ワークショップを行いました

二〇二二年三月十七日(木)に、西会津町授産場さんからのご依頼で、利用者さんに向けた「エコバッグ作りワークショップ」を行いました。当日は、エコバッグに、様々な色や形のスタンプで模様付けをし、自分好みの一枚を仕上げて頂きました。ひとつずつ慎重に集中して押ししたり、丁寧に制作を楽しんで頂きました。どの作品も、きらきらとした発想に溢れていました。笑顔満載のワークショップを通じて、スタッフも新しい発見や喜びのある一日となりました。



YouTube更新しています

動画第二十一弾は「春のお菓子づくり」

西会津国際芸術村では季節に合わせた動画の配信をしています。第二十一弾は、「春のお菓子づくり」をした動画です。

今回は、昨年の春につけた「桜の花びら」を使った春っぽいお菓子づくりを行いました。作ったお菓子は「どら焼き」と「浮島」のふたつ。どらやきには桜のホイップクリームを、浮島には桜の花びらを散らして蒸しあげました。この日はお抹茶をたて一緒にいただきました。ふたつとも美味しくでき、春を感じたひとときでした。ぜひご覧ください。

ご紹介した動画はこちらから
視聴可能です。



【YouTube】

下記のQRコードより過去の作品もご覧いただけます。
チャンネル登録よろしくお祈りします！

スタッフおすすめ 今月の本

「いつか ロロサエの森で」



この本は、「じぶんカフェ」にてお読みいただけます。

芸術村スタッフのおすすめの本をご紹介します。今月は市古が担当します。
東ティモール独立をめぐる人々を追ったノンフィクション。ほとんど報道されていなかった事実を「こころ」以降知つてから、この本で出会う言葉は私の中で強い余韻として心に引つ掛かりを残しています。世界が様変わりしてしまつた今、平和とは、守るものとは、戦いとは…この先大事な生き方のヒントになりそうな本です。



美味しいものコトとかいろいろ...

春を迎えることがこんなにも嬉しいことだとは。いやはや会津の冬、感服いたしました。あんなにも視界を占めていた雪が解けていくと、嬉しいような、寂しいような気分でございます。残すは、山菜をたらふく食べるのみとなりました。この季節、歩いているとついつい山菜を探してしまうものです。やはり、天ぶらが好きです。素直に塩をちょいつけてサクッといきます。そして、人の揚げた天ぶらが好きです。つきましては、山菜を食べる会などありましたら、ぜひ御一報ください。何とぞ。かしこ。



雪とけて
春のあしおと
花粉症

今月の一句

マワリテメクハ
季節の小話と一句
四月五日 清明(せいめい)
草や木、水などが清く明らかであり
東南風の心地よい季節。全てのものが清々しく明るく美しい頃とされ、様々な花が咲き乱れ、各地でお花見のシーズンを迎える。
四月二十日 穀雨(こくう)
この頃には田畑の準備が整い、それに合わせて春の雨が降る。種まきや育苗に適した時期である。

イコス日誌

写真撮影の舞台裏

なわないをした縄で縄跳びをする。これって乙なものだなあと大人が飛ぶにはちょっと短かったです。



縄ない # 自分で縛う # 縄跳び

SNS更新中!
チェックしてみてね!

【お問い合わせ】西会津国際芸術村
tel : 0241-47-3200
mail : niav.public@gmail.com
〒969-4622 福島県耶麻郡西会津町新郷大字笹川上ノ原道 5752

【HP】 【LINE】 【instagram】 【Facebook】 【YouTube】 【Twitter】

